

V 参加者の感想

坡州市の中学生との国際交流

本町中学校 浦部 創造

僕が坡州英語村中学生派遣事業に参加しようと思った理由は、主に二つありました。一つ目は、好きな英語を通して、自分自身の積極性を養いたいと思ったからです。僕は自分から進んで何かをするのは得意ではありません。日本とは違う海外を見たり、言葉の違う人々と交流したりすることは、自分の短所を見直すきっかけになると思いました。二つ目は、違う国の中学生と間近で話してみたかったからです。韓国の中学生は、何を考え、何を思っているのか、どのようなことで意思疎通ができるのか、興味が湧きました。



実際に韓国に到着し、坡州市の中学生たちと初めて会った時は本当に驚きました。部屋に入るなり、彼らは「Hello! What's your name?」と挨拶してくれました。僕には、初対面の人にこのようなことを言える勇氣はありませんでした。そのおかげで、気持ちよく滞在をスタートできました。その後は、自分から何か尋ねてみたり、進んで物事を提案したりするなど、自分でも驚くほどに積極的になっていました。

また、坡州の中学生は、秦野の中学生と国際交流がしたい、という気持ちがとても強いということを感じました。仲良くなり、部屋ではたくさんのお話をしました。彼らは日本が大好きで、僕が知らないことも話していました。会話が途切れることはなく、僕らの話すことに興味津々で、僕自身ももっと日本のことを考え、自分から日本を伝えられるようになる必要があると思いました。国際交流の目的で行ったにも関わらず、彼らの意欲には何度も驚かされてしまいました。それにつられて、僕も積極的になることができたのかもしれない。

今回の英語村での研修では、韓国の中学生達と、それぞれの文化や意識、センスの違いを越えて、それぞれの国や市のこと、興味のあることなど、お互いに拙い英語ではあったけれど、身振り手振りを加えて一緒に話したり、食事を

したり、ありのままで交流することができました。そして、積極的に物事に
取り組むことや違う国の中学生と交流することの楽しさや幸せを実感しました。
これからも彼らとの交流を大切にしたいと思います。また、会えることを楽し
みにしています。

韓国に行ってみて

本町中学校 園部 彩花

パジュ英語村を体験してみて、最初のころは初めて行く坡州の準備は大丈夫かな?とか、韓国の人と仲良く出来るかな?とかで不安でした。

当日のバスの中では、一人でますます不安になったけど、新しく入った子がいて、自己紹介して少し不安がほぐれたので良かったです。

空港では、柿花早紀さんと友達になって、早紀さんが前に本町小だったので、本町中の事を話して、とても楽しく不安がなくなりました。

一番緊張したことは、荷物検査の時でした。ひっかかたりしないかな?とか、ペットボトルとか入ってないよね?とか、すごくあせりました。でも、ひっかからず、すぐに飛行機に乗れたので良かったです。

韓国に着いて、まずは韓国の観光をしました。一番韓国でビックリしたことは信号です。日本の信号だと赤と青に対し、韓国では赤と青と時間となっていて、日本とは違ってビックリしました。

そして、韓国の人に会えてうれしかったです。みんなが緊張しているので、韓国の人達と風船ゲームをして交流が深まって、みんな楽しそうでした。その後もグループで31ゲームをして、グループでも交流が深まりました。

3日目にバラみたいな花のクッキーを作りました。それを作るのは非常に大変で、牛乳の量を間違え、花びらの部分も大変難しかったです。でも、グループのみんなで食べたらいいしかったし、家でも作ってみたいです。

5日目では、シンデレラの劇をして、私はナレーションだったけど、けっこう大変でした。でも、シンデレラの衣装を着たり、プリンセスの衣装を着たりしてリアル的でした。

6日目では、韓国の人とお別れをしました。帰ってほしくなかったけど、最後は笑顔でお別れをしました。

このパジュ英語村を体験してみて楽しかったし、交流が深まったので、また参加したいです。



貴重な文化交流

南中学校 根本 莉汐

今回私は、秦野市とパジュ市の交流事業に参加して、パジュ市についていろいろなことを知ったり、たくさんのパジュ市の中学生と交流したりしながら、英語も勉強しました。海外に行くのは初めてではありませんでしたが、一日中英語で生活することや、同年代の外国人の子と交流を持つことは初めてだったので、行く前は「私にできるのだろうか?」「会話が成り立つのだろうか?」と心配になりました。でも、今までに経験していないことを体験できると思うと、それ以上に楽しみでした。



いよいよ出発の日になって、朝、他に参加する子達と韓国まで行きましたが、同じ中学の子が2人いたことと、他の子達ともすぐ仲良くなれたので不安はありませんでした。韓国に到着しヘイリ芸術村を観光した後、夕方頃に英語村に着き、韓国の子達と初めて会い、大きなホールで交流を行いました。第一印象は、みんなお化粧品をされていてかわいいなと思いました。それに、英語の発音がとてもきれいで上手だったので驚きました。その後部屋に別れ、同室の韓国の子達と自己紹介をしたり、お土産を交換したりして、思っていたよりも英語での会話のできたのでほっとしました。

2日目からは本格的に英語の授業が始まり、グループに分かれてゲームをしたり、からくり装置やお菓子作りをしたりして、毎日とても楽しかったです。特に、世界中の色々なゲームをチーム対抗戦でやったことが一番面白かったです。毎日の授業の中で、韓国の子は日本人より積極的に手を挙げて発言していたことがすごいと思いました。それを見て、私も分かった問題や答えに迷った問題でも積極的に手を挙げようと心がけました。韓国の子達の好奇心旺盛で、探究心が強いところに感心しました。

今回この英語研修に参加して、英語でやり取りをしていくうちに、たくさんの表現を学べ、会話も続くようになったので、英語力が以前より伸びたように感じます。また、韓国の子達と交流をし、コミュニケーションの大切さを学び、積極性を見習いたいと思いました。そして、この経験をいかして、将来たくさんの国の人と話をして交流していきたいです。

英語村での1週間

南中学校 不野 綾音

2回目の説明会の際、ロールプレイングで質問されてもうまく答えられなかったり、新しい友達を全然作ったりすることができなくて、韓国に行くのが不安でした。でも、1日目のバスの中で日本人のテンションの高さを知ると、一気に不安がなくなりだんだん韓国に行くのが楽しみになりました。

英語村に着くと、建物や韓国の子がおしゃれなことやネイティブの人の話がとても速いことなど、とにかく驚いてばかりでした。また、ルームメイトの子の名前が難しく、なかなか覚えられませんでした。

2日目からは授業が始まりました。韓国の子とたくさん話すようになり、韓国のゲームを教えてもらって楽しみました。

3日目から5日目は、だんだん慣れてきて、新しい友達をたくさん作ることができました。授業では、韓国の子の頭の回転がとても速くて、クイズのときは「もう分かったの!？」という感じで、私ももっと頑張らなきゃと思いました。ボートをみんなで考えて作ったり、エンパナダを作ったりする授業もあって、とても楽しかったです。

授業では英語を学びましたが、その他では韓国の子から韓国語を教えてもらいました。だから英語よりも韓国語のほうが勉強した感じがしています。でも、韓国語は英語よりもさらに難しいので、もっと頑張りたいです。

6日目は韓国の子たちとお別れで、手紙をわたしたり、写真をたくさんとったりしました。お別れするのは、とてもさみしかったです。

韓国での7日間はあっという間でしたが、私にとって大切な思い出をたくさん作ることができました。英語も少し上達した気がするので、これからも頑張っていきたいです。



パジュ市で出来た友達との思い出

南中学校 矢木 すみれ

パジュ市への出発の前日、台風が日本から韓国へ向かっていく進路で、飛行機が飛び立つか不安でしたが、予定通り行く事が出来て嬉しかったです。

1日目、韓国の子と合流し、交流する韓国の中学生達と一週間仲良くやっっていけるかどうか不安でしたが、皆とてもフレンドリーで上手に日本語が話せる子も居たり、共通の話題で盛り上ったりしてすぐに打ち解けられました。宿舎ではベッドを決める時にあみだくじで決めました！それと、夜に日本のアニメの話題になり、同室の韓国の子が「ハイキュー！！」がすごく好きみたいでした。もう一人の子は、嵐の「大野智」が好きと言っていました。他にも「チマチョゴリ」をどんな時に着るかなど、文化についての話もたくさんしました。

2日目、朝食で食べたキムチがとても辛くて驚きましたが、韓国の子は甘いと言っていました…。



初めての授業ではクラス分けテストを行い、同室の子とは別れてしまいました。その後、理科の授業を受けた時にグループでおもりに一番耐えられる船を造って競い合い、デコレーションとして一人ずつ似顔絵を描きました。韓国の子で、日本の原宿に来た事がある子がいて、東京の話をしました。

3日目、家庭科の授業で「panada」を作りました。見た目は餃子みたいなものでしたが、リンゴジャムを入れたので、リンゴタルトの様でした。

仲良くなった韓国の子が日本のアニメの「はたらく細胞」に登場する「血小板」というキャラクターがすごく好きみたいで、漢字と平仮名で書けて驚きました。

4日目、授業で数字を足していき、77 以上になった人が負けというカードゲームをし、その時にお話した子が、今韓国で日本の歌手も人気と言っていました。

5日目、サムギョプサルという韓国料理が好きな子がいて食べてみたいと思いました。宿舎に戻り、line を皆と交換したり、写真を撮ったりしました。

6日目、1週間の英語村の授業のビデオを見て、韓国の子とお別れし、秦野

の子だけで大きなスーパーでお土産を買いました。

7日目、観光をし、お土産を買って日本へ帰りました。

韓国に来た事は、忘れられないような良い思い出になりました。

文化のちがいに触れて

東中学校 高橋 菜乃

私は、英語村に行って、韓国と日本の常識と文化のちがいを学びました。住む場所が1・2時間ちがうだけで、こんなに常識が変わるのは、すごいことなんだなと思いました。

まず、私が気になったのは食文化です。韓国の食事は、はしが鉄製の物を使うそうです。でも、私は、軽く先が細い日本のはしに慣れていたので、少し使いづらかったです。また、毎回出るキムチが、すごく辛くて、おどろきました。スープの器を韓国は、持ち上げて食べないそうです。なので、少しスープが残ってしまって残念でした。お米はスプーンで食べるので、使いやすいのですが、お米が意外と取りにくかったです。

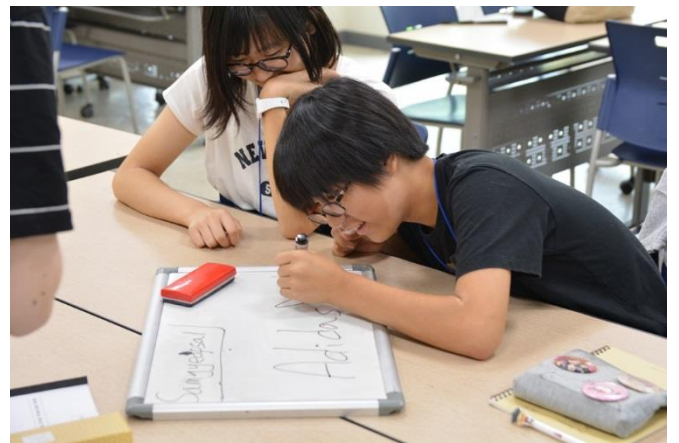
次に、生活のことで気になっているのは、街に出ると看板が全て韓国語で、何が書いてあるのかが、わからなかったけど、すごく感動しました。日本の車はほとんど右ハンドルだけど、韓国は左ハンドルだから、バスから降りる時、おどろきました。韓国のお金はウォンで、日本の円よりもゼロが一つ多いので、高い物を買っている気分になり、少しこわかったです。

文化や常識のちがいが、生活のすごしやすさにかかわっていました。なので、韓国の文化がこんなにもちがうなら、他の国はどんな文化があるのか知りたくなりました。

次に、言葉についてです。韓国の人は日本人よりも英語が上手だったのでおどろきました。そして、日本語をたくさん積極的に使ってくれてうれしかったです。韓国語を教えてもらい名前を書けるようになりました。

みんな言葉を大切にしている、私も自分の名前を英語や韓国語で書いた時、全く日本語とちがっておもしろかったので、もっと色々な国の言葉を知りたくなりました。

今回の体験で文化のちがいや、常識のちがいにとてもおどろき、とても興味を持ちました。それだけではなく、他の国の文化や、常識のちがいも見てみたいと思いました。そして、英語の知識をもっと広げていきたいと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



充実した坡州

北中学校 田上 汀

今回坡州市に行ってみて、私は友達をたくさん作ることが出来ました。日本人も韓国人も皆フレンドリーで、少し内気な私でも、すぐに打ち解けることが出来ました。また、韓国人は、とても英語の発音がきれいでした。そのため、耳で聞きとるのが難しかったりもしたのですが、わからないことは、だいたいジェスチャーで伝えることができ、たくさんのことを話すことが出来ました。そして、韓国人の中には、とても日本語が上手い子がいて、日本語での会話もはずみました。私達は、事前に英語をたくさん勉強していたのですが、韓国語もたくさん勉強していたら、もっと充実した一週間にできたのではないかも、思いました。でも、坡州市で韓国語を教えてもらったり、日本語を教えたりもして、楽しかったです。韓国人は、覚えるのがとても早く、皆で移動の時に、「暑い。」と日本語で話したりしていました。

授業は、クッキーを作ったり、皆で英語の劇をしたりして、とても楽しかったです。夜の映画を見る時間は、英語の音声、韓国語の字幕だったので、日本人は絵を見て物語を楽しんでいました。また、休憩時間があるのですが、部屋に、テレビはもちろん、スマホは使用禁止なので、ひまな時が多かったのですが、皆でゲームを考えて、遊んだりしました。でも、UNOとか、かるたとか、日本のゲームを持って行っていたら、もっと楽しく過ごすことができたのかもしれない。ご飯は、毎食毎食キムチが出て、いろいろな食べ物がありました。日本にあるものと似ていても、味付けが違ったり、日本にないものもあったりしました。でも、どれもおいしかったです。

私は、今回このような経験ができて、韓国の文化や生活について、たくさん知ることができ、韓国人ともたくさん話せて息の合う友達が出来たり、ワークなどでしっかりした英語の学習もできたりしたので、とてもよかったと思います。また、別のプログラムで来ていた人とも仲良くできて、とても嬉しかったです。

もし、次回も行けることになったら、今回の反省を生かし、充実した今回のさらに上を目指して、頑張りたいと思いました。



坡州市に行って

北中学校 田上 梓

私が坡州市に行って楽しかったことは、英語の授業です。16、17、18、の3クラスに分かれて学習をします。私はクラス 18 で、密度の実験や、ビートボックスの練習などをしました。クラス 16 と 17 は合同でやっていて、クラス 18 とほぼ同じ授業をしたそうです。

嬉しかったことは、自分の話したいことが相手にも少し伝わったことです。私は英語が苦手で、文法もアベコベの状態で話していたのですが、ちゃんと文法を考えて韓国人と話すと、時々伝わって、韓国人としっかり会話ができ、仲良くなることが出来たので、その時はとてもうれしかったです。困ったことは、トランプゲームを持って行かなかったことで、ケータイを預けている間にすることがなくなってしまったことです。もし、トランプゲームを持って行っていたら、ルームメイトともっと仲良くなれたかもしれません。気を付けた方がよいことは、坡州市のビュッフェでは、キムチなどの辛いものが多く出て、水がなければ食べられないほどです。しかも、どれも日本の物の倍くらい辛いです。だから、食堂には必ず水を持って行った方がいいと思います。難しかったことは、韓国人とのコミュニケーションです。こちらの英語はなんとなく聞き取ってくれるのですが、韓国人の英語は発音がよすぎて、とても聞き取りにくいのです。だから、韓国人と話するときには、自分が何を話すか考えるのではなく、韓国人が何と言っているのか考えた方がいいと思います。大変だったことは、朝早く起きることとお風呂に入ることです。朝は弱い方だったので、友達に一回起こされても起きることが出来ず、迷惑をかけました。また、お風呂は洗面所と同じ所なのでとても狭く、着替えも中に持って行ったので、落としてぬらしてしまったりしました。



私は、今回の坡州市英語村中学生派遣研修に参加して、まだまだ英語が話せないことがわかったので、この経験を生かして、これからも英語の勉強を頑張りたいと思いました。

思い出に残った英語村

北中学校 浦井 梨杏

私が坡州英語村に参加しようと思ったのは、仲良しの友達に行ってみよう!!と誘ってもらい、応募してみる事にしました。

いざ市役所に行ってみると沢山人がいて、英語が苦手な私は自信が無くなってしまいましたが、抽選を引き番号が書いてあったのを見た時は、友達も私もすごく嬉しかったです!!

事前に自己紹介のスピーチを考えてきてねと言われ悩んでいると、お兄ちゃんが書き方など教えてくれて、私は家族の事や自分の好きな事や旅行中に誕生日を迎える事などを話しました。

韓国に向かう当日、少し緊張をしていました。でも、バスや飛行機で他中学の友達と話したりして仲良くなる事が出来て、緊張はほぐれました。そして、韓国に到着!!

韓国の子達と対面の時はまた緊張しましたが、みんな優しい子達ばかりでした。

一日中英語での会話なので、英語が苦手な私には、わけも分からなくて大変でした。

2日目になると色々な韓国の子達から話しかけてもらい仲良くなり、ジェスチャーを交えながら少しずつ話せるようになりました。同じ部屋の人達ともすごく仲良くなれました。分からないながらも、自分なりに考えて会話をしようと思い頑張ってみました。

みんなでの食事に誕生日を祝ってもらえた事にすごく嬉しかったです。

あっという間の1週間でした。

お別れの時はすごく寂しかったけど、また日本で会おうね!!って約束をしました。

楽しい日が送れて、すごく良い経験が出来ました。夏休みの最高の思い出になりました。



坡州・英語村に行ってきた

北中学校 本橋 優姫

今回の英語村の研修を経て、日本語が通じないなかでの授業はすごく心細かったけど、先生も韓国の子も優しく一生懸命教えてくれて、授業二日目には心細かったのもなくなり、楽しく授業をすることができました。

授業ではテキストなどをずっとやることはなく、家庭科のような授業でクッキーを作ったり、ホワイトボードを使ったりする授業があり、研修を嫌だと思いう事もなく、毎日楽しく授業をすることができました。

宿舎では日本人と韓国人のまざった5人部屋だったため、同じ部屋の子と仲良くなれるか心配だったけど、韓国の子もたくさん話しかけてくれて、カードゲームやお菓子交換、お菓子パーティーなどをして、同じ部屋の子や違う部屋の子とも仲良くなることができました。

夕食後の授業では、班で協力するゲームや映画、アニメの鑑賞、ミュージカルなどを見て、楽しむ事ができました。

その授業の中でも一番印象に残っている授業は、自分達で作りあげる劇です。ピーターパンやシンデレラなどのディズニーの有名なアニメをグループで役を決め、英語で劇をする授業です。私達のグループは白雪姫の劇をしました。みんな役になりきって楽しむことができました。そして、私達の白雪姫の劇が一番よかったと先生達に褒められ、10ポイントをもらうことができました。

韓国の子も韓国語が通じない私達にフレンドリーに話しかけてくれて、坡州・秦野で来ていない子も、日本語や英語でたくさん話しかけてくれて、すごく嬉しくて、英語村で楽しめたのは、フレンドリーに話しかけてくれた韓国の子達のおかげだと思います。



私は今回、英語村に行ってみて、最初は心細さと緊張もあったけど、英語村について二日目には、心細さや緊張はまったく無くなり、授業でも友達関係でも楽しむことができました。英語の単語も覚えることができ、英語村に行って、本当によかったです。

英語村で学んだこと

大根中学校 河井 太真樹

僕が英語村で学んだことは、主に二つあります。一つは、話すときは必ず手話を使い表情をゆたかにすること。二つ目は、相手の知らないものを見せるとコミュニケーションが取れることです。

僕は最初、初めての国際交流でとても緊張していました。ですが、韓国の生徒は積極的に話しかけてくれました。そのときに表情がゆたかだったため緊張感はとけ、自分も積極的に話すことができました。今までに、ここまで緊張感がなく、積極的に話せた人はいませんでした。つまり、表情をゆたかにするという事は、人との会話をつなげるうえでとても大事なことだと思いました。



それでも、僕は英語が得意ではありません。英語でのある授業で、韓国の生徒と共にお菓子を作るとき先生の説明を聞き取ることができませんでした。そのときに役立ったのが手話でした。その先生は手話が上手だったため、英語が分からなくても、僕はだいたいを理解することができました。手話を使えば、もしも相手の言いたいことを聞き取れないときに役立つことに気付きました。

僕は韓国の生徒へのお土産に、日本のお菓子を持っていきました。そして、それを韓国の生徒にあげると、とても喜び、そのおかげでコミュニケーションがとれて、自分との仲が深まりました。相手の知らない何かを見せたり、体験させたりするという事は、相手とのコミュニケーションをとるきっかけとなるということを学びました。

坡州市の同年代の生徒と共に暮らす中で学んだことは、とても貴重なことだと思います。今まで自分にはなかった新しい人とのコミュニケーションの取り方を学んできました。これをこれからの人生で活かし、人とのコミュニケーションの取り方に工夫を入れて多くの人と仲を深められるようにしていこうと思います。

お互いが仲良くなるために

西中学校 吉田 真杜

僕の今回の研修の目標は、韓国の中学生と友達になることでした。でも、僕は英語力もコミュニケーション能力も自信がなかった上、自分と同じ西中学校の人も他にはいなかったのので、パジュの中学生だけでなく、秦野の中学生とも仲良くなれるか不安に感じていました。

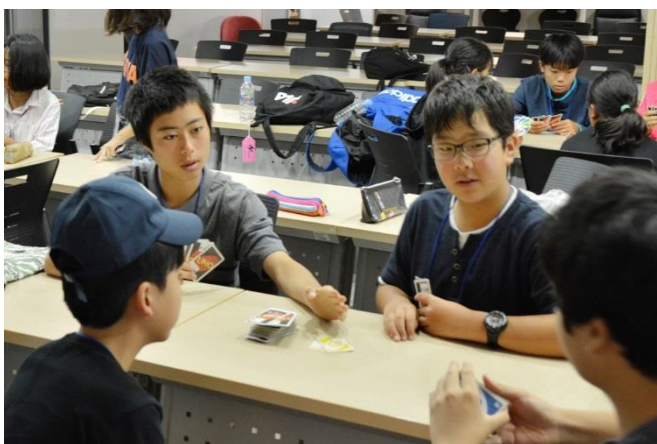
それでもじっさいは、秦野の中学生ともパジュの中学生とも、すぐに仲良くなることができました。1日目の夜は自分もまだかなり緊張していたけれど、パジュの中学生が優しく「What's your name?」と声をかけてくれたので、自己紹介できました。2日目からの授業でも、パジュの中学生と混ざってグループをつくり、一緒に問題をといたり相談したり、協力したり、気がついたら簡単な英語の会話で普段の学校生活で友達と過ごすような感じに交流していました。ふざけあったり、一緒におかしを食べたり、国が違っていても、言葉が違っていても、お互いに理解しあえるということ学びました。

今回の経験で他の国の人とも交流をしたいと思ったので、この経験を生かして、今後は海外旅行や海外留学にも挑戦してみたいと思いました。

また、パジュの中学生が秦野に来たときは、もう少し英語を勉強して秦野市の良いところを教えてあげたいです。

また、今回の研修で訪れた、DMZも印象に残っています。DMZは北朝鮮と韓国の境から両側に2kmのところにある非武装地帯と呼ばれる場所です。

DMZでは戦争の悲惨さや平和のすばらしさを感じました。今回の研修のよう



に異国間同士で交流を行えば、お互いを理解しあえて仲良くなり、戦争など争いごとが減り、平和につながるのではないのでしょうか。とても貴重な体験ができてよかったです。

韓国で学んだこと

南が丘中学校 刑部 諒真

僕は波州市でいろいろなことを学びました。

韓国人には日本語と韓国語が似ているということを知りました。日本語の約束は、韓国語では「ヤクソー」と言うのが驚きました。韓国人の話しているところを聞いていると、時々日本語に聞こえたりもしました。

カフェテリアでは、キムチが日本と少し味が違い、辛いということがわかりました。韓国人はそれに慣れていますが、日本人は慣れていない



ため、韓国人は先に部屋に帰ってしまうことが毎回ありました。

授業では、たくさんのクイズをしました。とても面白いクイズばかりでしたが、少し難しかったです。だから、グループのみんなで意見をたくさん出しました。私たちのグループのメンバーはかしこい人が多かったので、勝つ回数が多かったです。

もうひとつ授業では、「gift」と「present」の違いを勉強したのがとても興味深かったです。「gift」はアメリカで使われていて、「present」はイギリスでよく使われているようです。僕はその違いを知らなかったのも、とても驚きました。僕は、「gift」は小さいちょっとしたもので、「present」は豪華で大きいものかと思っていました。だから、この授業はとても興味深かったです。

スーパーマーケットでは、寿司を売っていました。僕はそのすし一貫の値段が約 60 円で安いなあと思いました。韓国のりも 30 パック入りで約 800 円ととても安くて驚きました。

僕は今回、たくさんの韓国人とたくさんコミュニケーションをとったので、とても英語が上達したと思います。僕は韓国人との会話の中で、授業で覚えた単語を使うこともできました。そして、少しだけ韓国語も覚えました。日本と韓国の文化の違いも分かったので、とてもいい研修になりました。また行ける機会があれば、英語村にもう一度行きたいです。

英語村に行ってみて

南が丘中学校 多田 優月

私が坡州英語村に行ってみて思ったことは、とても楽しく授業ができる良い研修だったということです。私はあまり勉強が好きではなく、いつも全然ニガテだったので、今回の研修でちゃんと勉強できるか、や一人だけ何にもできなかつたらどうしようなどの不安がありました。でも、実際にやった授業はカードゲームやチームで協力する実験で、教科書を使う勉強じゃなく、自分が分かる言葉でどれだけ相手に伝えられるかという状況にして、単語力ではなく、英会話力を身につける勉強法だったので、勉強がニガテだった私でも「明日の授業なんだろうね」と楽しく話の話題になったほどでした。

授業の休み時間や相談の時間もあつたおかげで、坡州の子達とも徐々に仲良くなれて、後半ではもともと仲が良かった友達のような関係になれました。坡州の子達はすごくフレンドリーで、昔から人見知りか少しあつて、初めて会つた人に話しかけるのが得意ではなかつた私でも、すぐに仲良くなることができ、とてもうれしかったです。自由時間にはいっしょに買い物に行つたり、次の日何をして遊ぶかの話をしたり、夜は一つの部屋にみんなで集まつて、配られたおかしやジュースを持ってきてパーティーやカラオケをして楽しむことができました。

もし、また今回のような交流会やイベントがあつたら、できるだけ参加したいです。



サバイバルゲーム in Korea

南が丘中学校 原 輝葉

最初に、バスに乗って、羽田空港へ行く所までは、同じ中学校の子としかしゃべれずつまらなかったが、飛行機を待っている時やそれまでの移動時間に、たくさんの人と会話が出来て楽しくなってきたので、飛行機と一緒に気分も上昇していきました。ほぼほぼ初めての飛行機だったので、前の人の頭の所についているテレビの機能にも驚き、機内食が出てくることにも感心しました。ソウル金浦空港に到着するまでも日本人とゲームをやって楽しんでいましたが、やはり気持ちが悪くなってしまい降りたらすぐにトイレに行ってきました。案外キレイでした。

その後、バスで韓国を回りました。まず、初めに気づいたのが、運転席が左側、道路が3車線ぐらいあることです。東名高速道路かと思いました。だが、これが普通のことでした。あっという間にヘイリ美術村に着き、歩き回りました。そろばんの置物があり、とても興味深かったです。バスに戻り、やっと英語村に着きました。そこで韓国人と合流して部屋に行きました。部屋は日本人と韓国人が半々で分かれていて、まあ初対面という所もありましたが、初めて日本語をしゃべれない方とのコミュニケーションをとるのは難しい事だとそこで実感しました。ベッドの位置を決めるのにも一苦労でした。そして、初めての韓国食を食べました。辛い物ばかりというイメージでしたが、一部だけだったので食べることができました。普通に辛いものも食べられるようになりました。

とうとう英語学習プログラムが始まり、みんなで協力しあい、先生が出した問題について、ひたすらそれを解くというゲームをしていました。1回だけ、英語でクッキー作りをしました。また、グループで英語のみで、日本でも有名



なズートピアの劇をしっかりと衣装も着てなりすまして楽しみました。字幕を韓国語にするのはよくないと思いましたが、おもしろかったです。授業は心配していた難しい英語の授業などはしませんでした。おみやげを買いに行った時には、日本のコス

トコ並に巨大だったので、ビックリしました。たくさん買えました。最終日に韓国を探検して、北朝鮮の手前まで来た時は少しこわかったです。英語村全体を通して最高!!

英語村に行って

南が丘中学校 瀬戸 亜利紗

私がこのプログラムを通して感じたことは、いつもと過ごす環境が……。でも、仲間と一緒にならば乗り越えられるということです。

私は、最初英語村について、「ここで一週間過ごすのか……」と不安でしたが、部屋や授業に行くと、先生や韓国の子達がいろいろ説明してくれたり、他の部屋の子達が遊びに来てくれたりしたおかげで不安はすっかりなくなり、自分から英語村内にあるマートに買い物に行ったりできました。

クッキングの授業では、バラの形をしたクッキーを作りました。作るのは意外と簡単で上手く作ることができました。英語劇では4つのチームに分けられました。私は白雪姫の中の女王の役を演じました。セリフを覚えることはできませんでしたが、役になりきって楽しめました。

英語村では、オールイングリッシュで生活しましたが、授業以外では特に困ることもなく、韓国の友達とも仲良くすることが出来ました。6日目には韓国の子達は帰ってしまうので、連絡先を交換したり、写真をとったりして交流を深めました。

初めてのことや不安なこと、苦手なことでも気持ちを切りかえて頑張れば、良い結果になっていくのをこのプログラムで学習しました。私はこれからも英語村で仲良くなった子達を大切にしていきながら、もっと色々なことに挑戦していきたいと思います。



充実

渋沢中学校 東海林 樹衣子

私は、英語を勉強することが好きで、英語で外国の人と会話できるようになりたいくて、この研修に参加しました。実際に韓国に行くことが決まってから英語村に着くまでは、自分の英語を話す力に全く自信がなく、トラブルが起きたときや坡州の中学生とコミュニケーションをとるときにどうしたらいいのか、飛行機やバスの中でも不安しかありませんでした。

でも、英語村に着いた初日の交流の時間に、坡州の人達とも打ちとけることができたし、その夜には、ルームメイトに「シャワーいつ使う?」「お菓子食べる?」というような会話を英語で自然にできるようになっていて、密かに安心しました。

授業のグループワークでは、チームのメンバーと普通に話し合うことができました。授業で出てくる文章や答えの中には、自分の知らない単語があったりしたのに、坡州の子の中には、中学1年生なのに私よりも遥かに多くの単語を知っていて、説明の速度が速い動画も1回で完全に理解しているような子もいて、もっと多くの単語を知らないといけないと思わされた部分もありました。英語を話すときは文法を気にするかと思っていたけど、自分の伝えたいことを言葉にしていくには、どんどん単語を出していく事が大切だと知りました。逆に、先生の話をお聴いたりする場合は、話の内容を詳しく理解する必要があるので、文法の知識がかかせないと実感しました。

坡州の中学生とはすごく仲良くなることができ、英語であたりまえのように会話できたのが、すごく嬉しかったです。帰る日が近付いてくるにつれて、まだここにいたいと思えたし、自分がどこまで英語が話せるのかを知れた充実した7日間を送れました。韓国の中学生と知り合うことも、英語に囲まれ、母国語よりも外国語のほうを多く使って長期間生活することも、普通に生活してはできないことなので、とても良い経験になりました。



世界共通語での会話

鶴巻中学校 柳川 さくら

私は、坡州英語村中学生派遣研修に行き、とてもよかったと思っています。最初この事業に応募し、当たって行けるといいなくらいでした。抽選に当たり、韓国に行くことができ、とてもうれしかったです。抽選をしてから1ヵ月後には韓国に行くことが決まっていました。



そして、韓国に着き、韓国の子と英語村で過ごす1日目をむかえました。1日目は、英語村についてから、韓国の子とロールプレイをしました。最初に韓国の子をみると、日本の中学生よりも大人っぽくて、仲良くなれるか不安でした。そして1日目の夜、英語村からおかしをもらい、部屋の子たちと、おかしパーティーをしました。この時に韓国の子と仲良くなろうと思いましたが、まだあまりコミュニケーションがとれず、その日はおわりました。

そして、2日目から、英語の授業が始まりました。まず、クラスをわけるために、テストを行いました。そしてクラスが分けられて、ネイティブスピーカーの先生との授業が始まりました。最初はなれなかったけど、3日目4日目となっていくうちに、話していることが少しずつわかるようになりました。夜の授業になると英語版になった映画を見たりしました。

朝、昼、晩ごはんは、仲良くなった韓国の子と一緒に食べたり、部屋で遊んだり、おかしを食べたりしました。日がたつにつれて、どんどん韓国の子と仲よくなりました。授業では、韓国の子と同じグループになり、クイズなどをしました。そして、韓国の子たちと先生で、アップルパイを作りました。英語でつかう道具を取りにいき、そこから説明を聞き、一つずつ作業を進めていきました。このように、英語で友達をつくり、英語で生活していくことを学びました。

世界共通語を日常でつかい、かんたんな言葉をおぼえたり、知らない単語を知ったり、とてもいい体験ができました。この事業に参加してよかったとも思っています。

わたしに必要なこと

聖ステパノ学園中学校 大山 らん

中学生になって初めての夏休みです。7月29日から8月4日の7日間、韓国の坡州英語村での研修に参加しました。私なりに今回の旅行の目的がいくつかありました。

－自分のことは自分でする－

普段の生活で、もう少し時間と物の管理をしっかりとしなければいけないと思うことがあります。まずは旅の準備、これから始まりました。荷物を確認し、出国カードや税関の申告書なども今回は自分で記入しました。いつもはお母さんがやってくれていますが、自分でするといろいろ大変だなと思いました。ちゃんとするつもりでしたが、滞在中に無くし物をして探してもらうことがありました。もっと気をつけないといけないと思いました。出発当日は台風が心配でしたが、無事に羽田に到着しました。韓国のお金に両替を自分でしました。機内では、ゲームや映画を観て退屈はしなかったです。

－英語をつかってみる－

次の日から帰国前日の午前中までは英語プログラムがありました。食事を挟み1日3回、朝から夜まで長い時間を英語で過ごしました。何を話しているのかよく分からず、あまり楽しくなかったですが、英語はこれからもっと勉強しないといけないと思いました。

－韓国の文化を知る－

食事はほぼ韓国の料理でした。辛いものが多かったです。キムチも葉っぱ1枚だけ食べてみました。坡州市の歓迎会にも招待され、餅と野菜が入っているしゃぶしゃぶのようなものを食べましたがおいしかったです。一緒に過ごした韓国の人たちは、みんな親切でとてもやさしかったです。英語研修の最後の日にお別れすると寂しかったです。帰国する前に韓国と北朝鮮の軍事境界線のDMZに行きました。普通には行けないようなところにも連れてってもらいました。



－日本に帰ってきてみて－

帰ってきてみると、うれしかったです。家に帰るのも学校の友達に会うのもほっとしました。私なりの課題は今回の研修でいくつか見つかったので、次回にどこかに行く日まで、普段の生活をきちんとしたいと思います。

交流の中で感じたこと

湘南白百合学園中学校 柿花 早紀

私は今回の英語村での研修の中で、貴重な体験もたくさんでき、とても充実した一週間になりました。初めは誰も知り合いがない環境で、友達ができるかとても心配だったけど、慣れていくうちに話せるようになり、最後にはたくさん友達ができ嬉しかったです。また、韓国の中学生とも、慣れない英語での会話の中で仲良くなる事ができました。宿泊棟での友達との交流は、とても楽しく、いい経験になりました。

また、授業では、外国人の先生による英語のみでの授業を初めて受けたので、聞き取るのが大変だったけど、何度か授業を受けていくうちに、だんだん聞き取れるようになったのが嬉しかったです。今回の研修で、前よりも聞き取る力が伸びたと感じます。ゲームのような授業で飽きずに、とても楽しく受ける事ができました。グループワークだったので、同じチームの人達と交流もでき、とても楽しい時間になりました。

私は今回の研修で、日本人と韓国人の友達をたくさん作る事ができました。また、英語の学習も深める事ができました。今回の研修で学んだ事を生かして、これから英語の学習を頑張っていきたいと思いました。特に、聞き取りの力が伸びたと思うので、学んだ事を生かして学校の授業や海外に行く時や外国人と会話する事になった時などに、しっかりと聞き取って会話できるようになりたいと思いました。9月に友達とまた会う時、今よりももっと英語を上達させて、研修の時よりもしっかりと韓国人と会話したいと思いました。

今回の研修では、友達がたくさん作れて、友達との交流もとても楽しく、また、英語の学習を深める事ができ、前よりも英語での会話ができるようになり、とても楽しく充実した一週間になりました。今回の研修で学んだ事を生かして、これからも英語の学習にはげんでいきたいと思いました。

